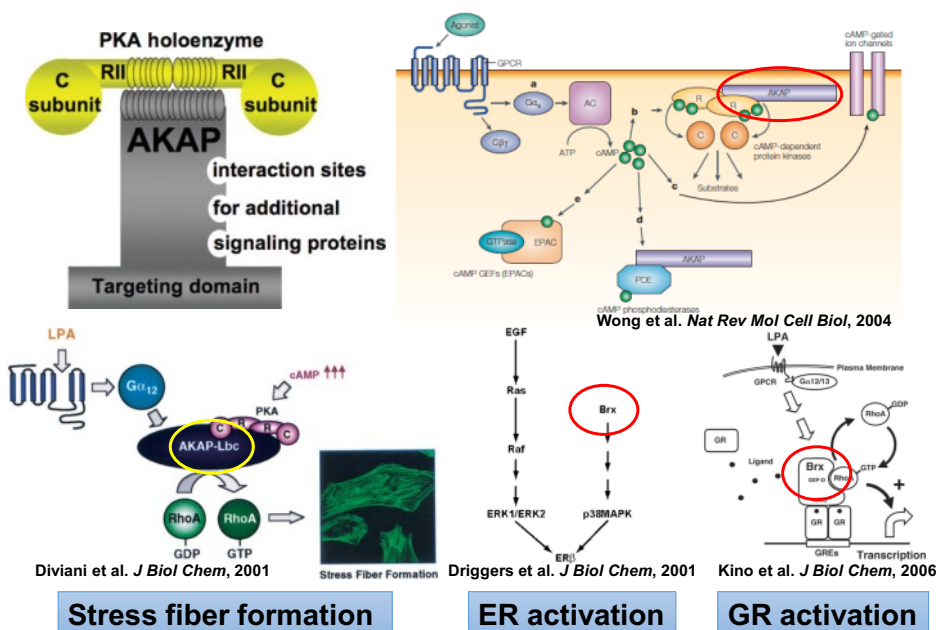


AKAP13を用いた骨代謝制御因子の解明

現在、骨粗鬆症は本邦で約1千万人が診断され、特に閉経後および高齢女性で最も重要な疾患の一つです。骨粗鬆症治療・骨代謝研究は、超高齢化社会における健康長寿を増加させるためにも、これから更に注目される分野であるといえます。一方、骨のメカニカルストレス刺激応答やエストロゲンの及ぼす機能などについては未解明な点も多く、骨形成の機序について完全に明らかにされたとは言えないのが現状です。私たちは、骨粗鬆症の治療薬の開発および骨代謝メカニズムの解明を目指し、AKAPタンパクの一つに着目して骨に関する研究を行っています (Koide H et al. *J Bone Miner Res.* 2015)。

AKAP13 (A-kinase anchoring protein 13)



これまでに報告されたAKAP13の持つ多彩な機能

